TOTO

幕板・ニースペース板・エンドパネル・フロアキャビネット

製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1) 安全上のご注意

- 取付前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り付けをすると、 ● 人が傷害を負う可能性が想定される内容 ● 物的損害の発生が想定される内容 を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。	必ず実行	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。

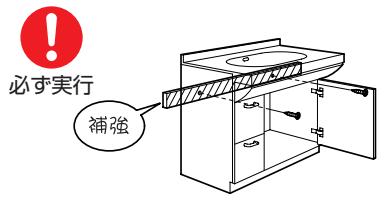
- 本体に付属されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

壁固定ねじ取付位置に木さんを入れて補強する

キャビネットが転倒し、ケガをする原因になります。

必ず実行



電気配線工事は、関連する法令にしたがって、必ず「有資格者・業者」が行う

火災や感電および水漏れの原因となります。

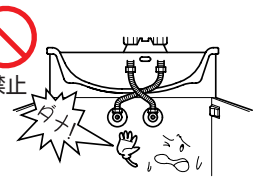
必ず実行

⚠ 注意

湯・水を逆に配管しない

水側でいきなり湯が出て、火傷をする原因になります。

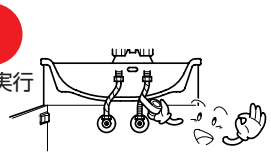
禁止



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う

凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行



取付完了後、給排水管から水漏れがないことを必ず確認する

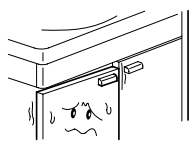
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行

取付完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する

使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。

必ず実行



カウンター・洗面器の上に乗らない

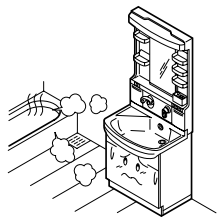
故障および転落・転倒してケガの原因になります。

禁止

浴室など湿気の多い場所へ設置しない

木部が膨潤する原因になります。

禁止



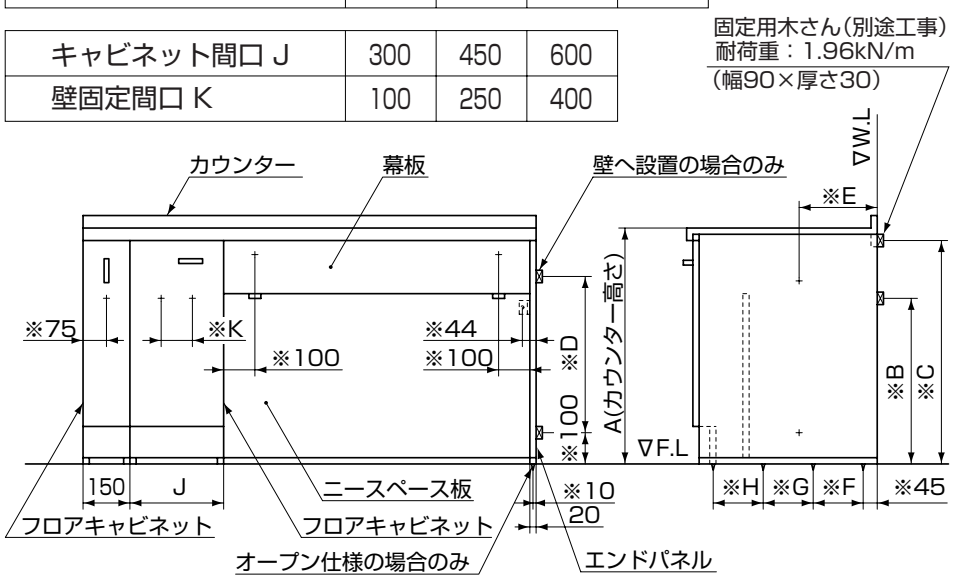
2) 設置寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 給水・給湯・排水位置は、承認図を確認してください。
- ※印の寸法は木ねじ位置を示します。

	A	B	C	D
カウンター高さ750用	750	530	715	500
カウンター高さ800用	800	580	765	550

	E	F	G	H
MS01・MSG1タイプ	250	130	130	—
MS03・MS05・MS07 MSG5・MSG7タイプ	370	160	160	160

キャビネット間口 J	300	450	600
壁固定間口 K	100	250	400

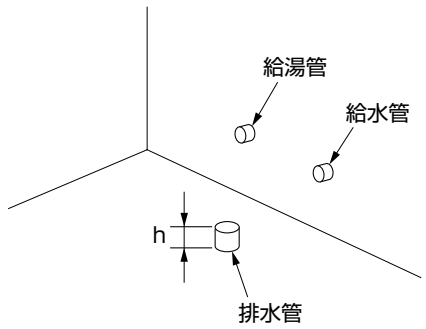


3) 設置上のご注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

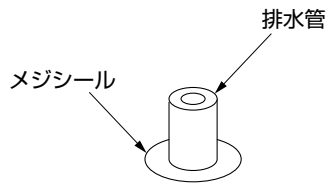
4) 取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。(壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格の板を強固に取り付けてください。
- 前板や扉、幕板には傷付き防止用に保護シートがついている製品があります。取り付けを始める前に必ずはがしてください。
- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。(排水管はVU40、VU50またはVP40、VP50をご使用ください。)



h	排水管
25	VU・VP40
15	VU・VP50

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすきまがある場合は、メジシールでシールしてください。



5 取付手順（番号順に取り付けてください。）

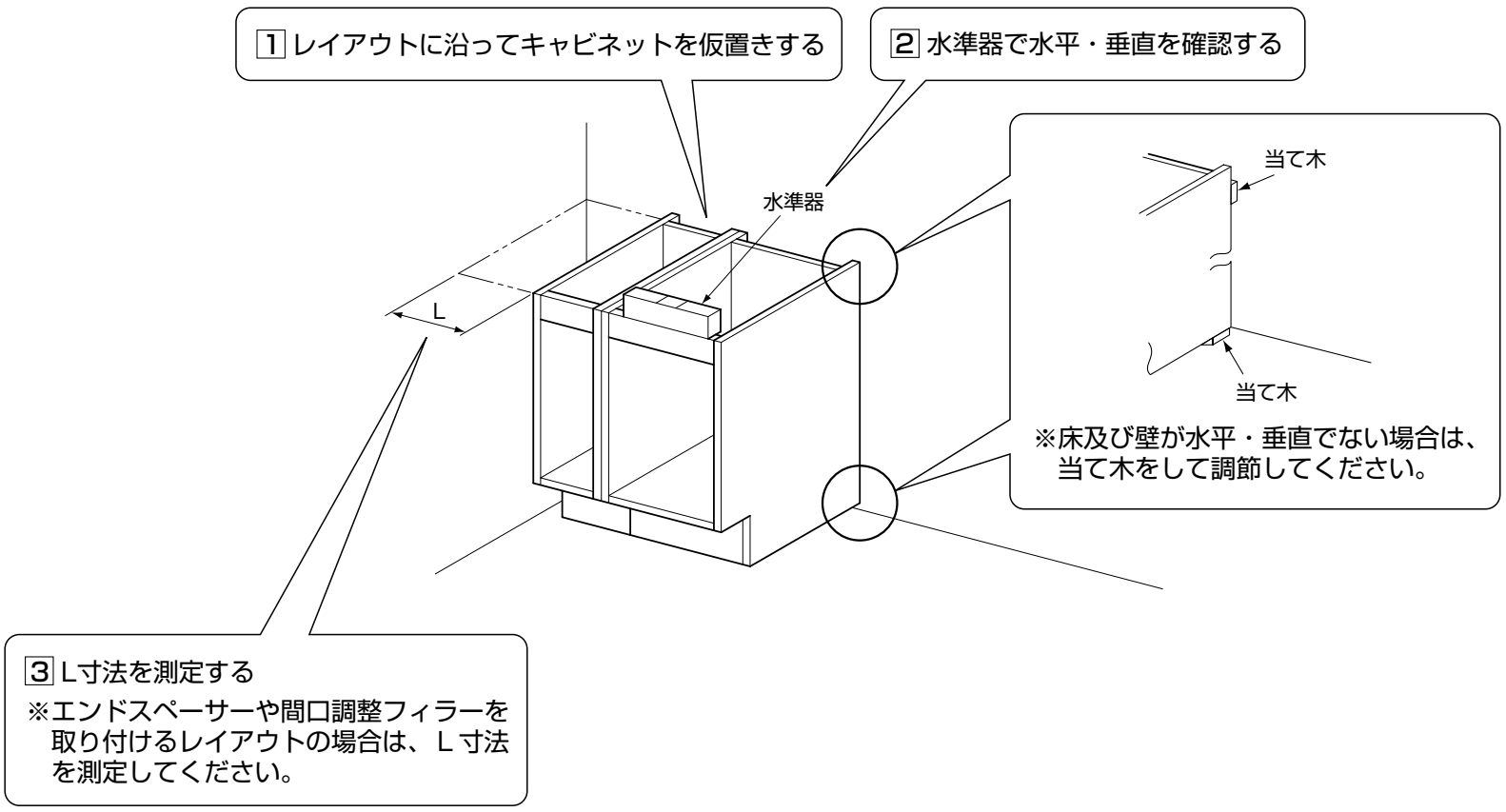
※タイル・コンクリート壁の場合は、現物にあわせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグ（引抜き強度：1,000N以上／本）を打ち込んでおいてください。
（プラグ用の下穴は必ず使用しているプラグ指定のドリル径であけてください。）
※木ねじで固定するときは、下穴を設けてください。

1 引出し・スライドラックを取り外す

- 引出し・スライドラックタイプは、あらかじめ製品より取り外しておいてください。
（製品に張り付けてある取り外し・取り付け要領のラベルを参照してください。）

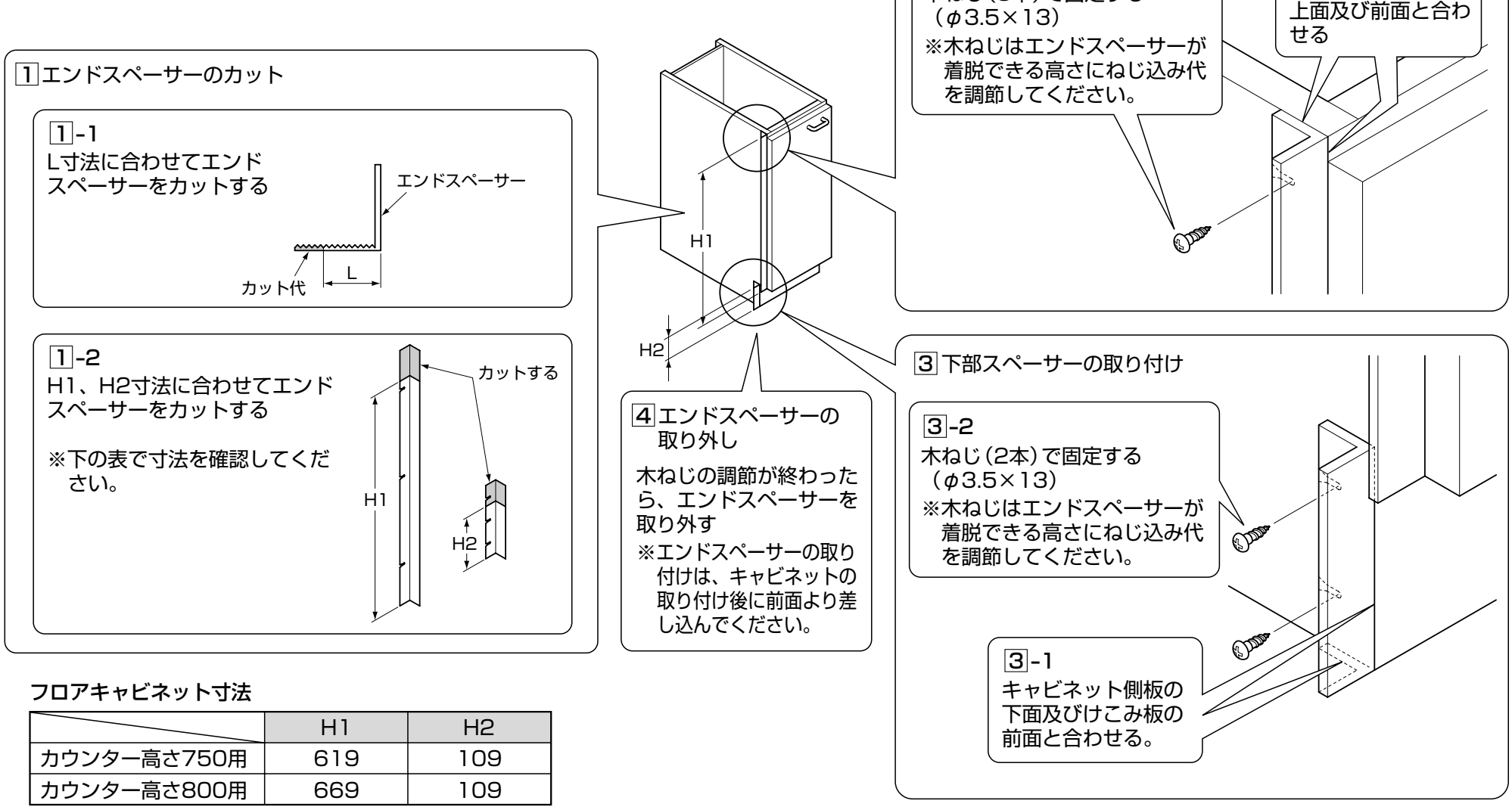
※取付完了後は、引出し・スライドラックを取り付けてください。

2 キャビネットの仮り置き



3 エンドスペーサーの取り付け

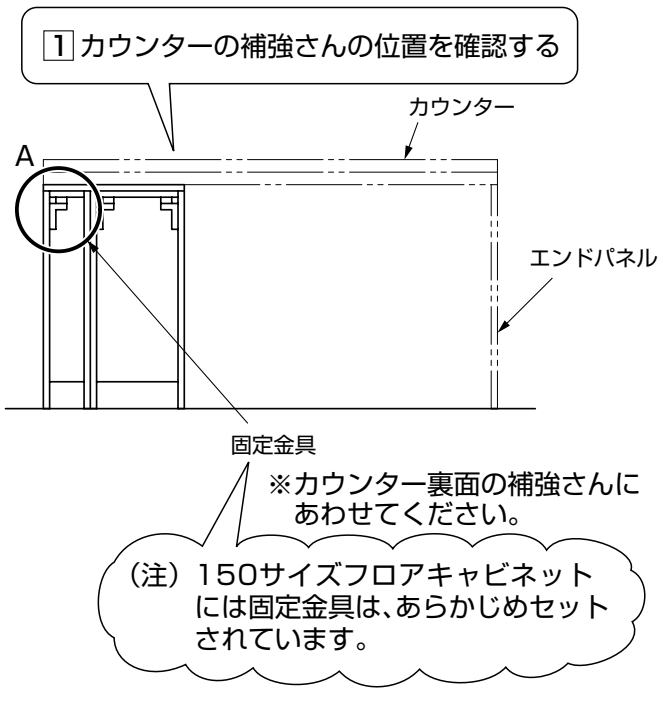
※レイアウトによりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領で
エンドスペーサーを取り付けてください。
※エンドスペーサーは、カッターまたは万能バサミでカットできます。
対応寸法は5～30mmです。

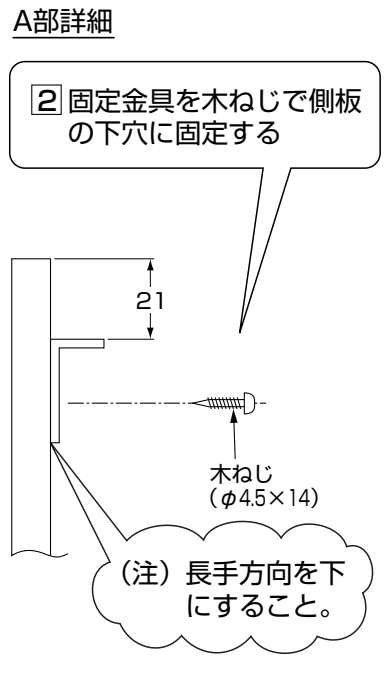


フロアキャビネット寸法

	H1	H2
カウンター高さ750用	619	109
カウンター高さ800用	669	109

4 カウンター固定金具の取り付け

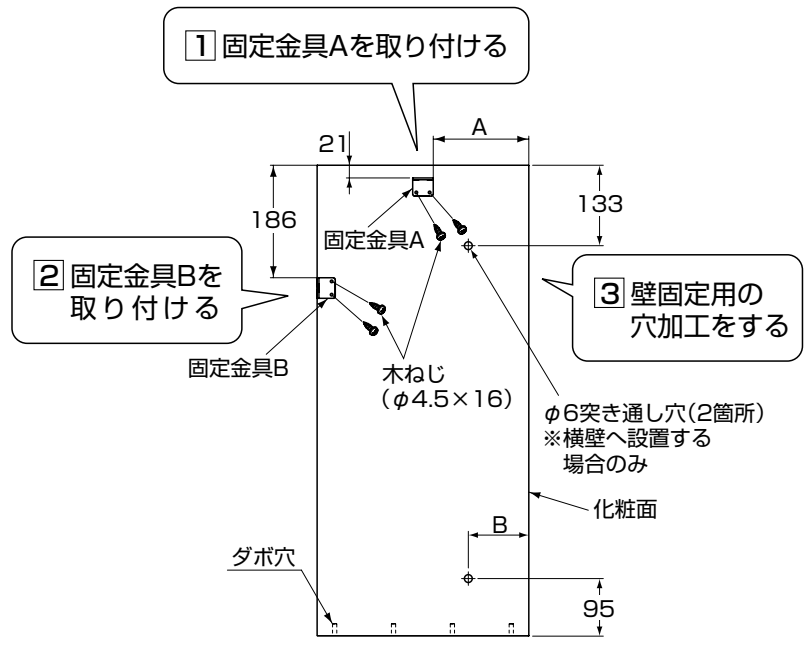




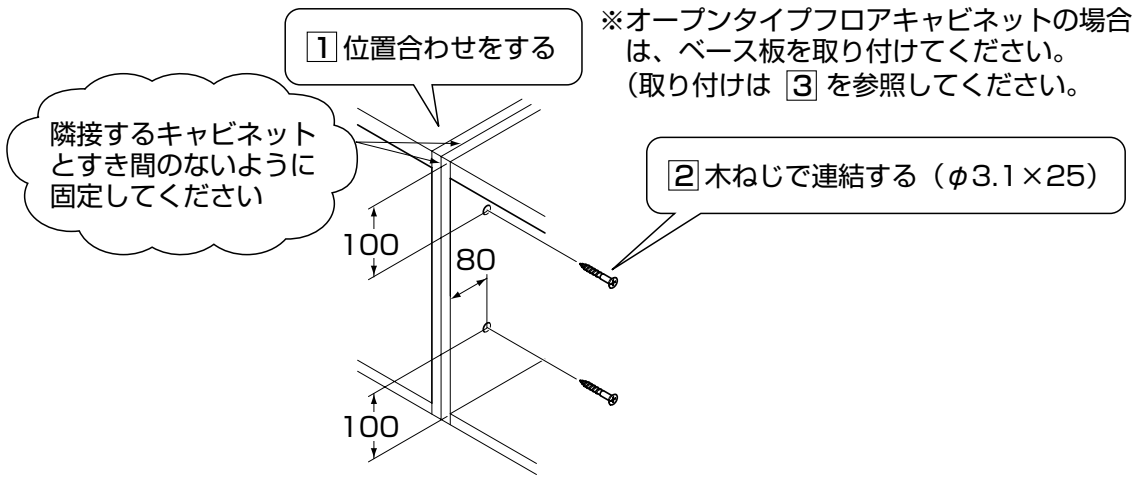
5 エンドパネルの取り付け

※エンドパネルを取り付ける場合のみ

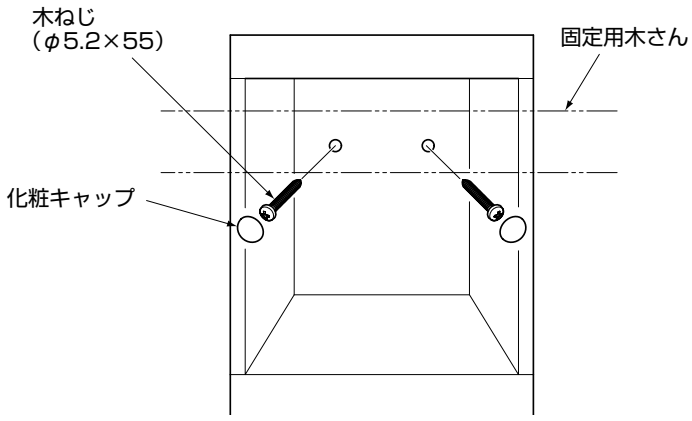
タイプ	A	B
MS01，MSG1	158	130
MS03，MS05，MS07，MSG5，MSG7	268	230



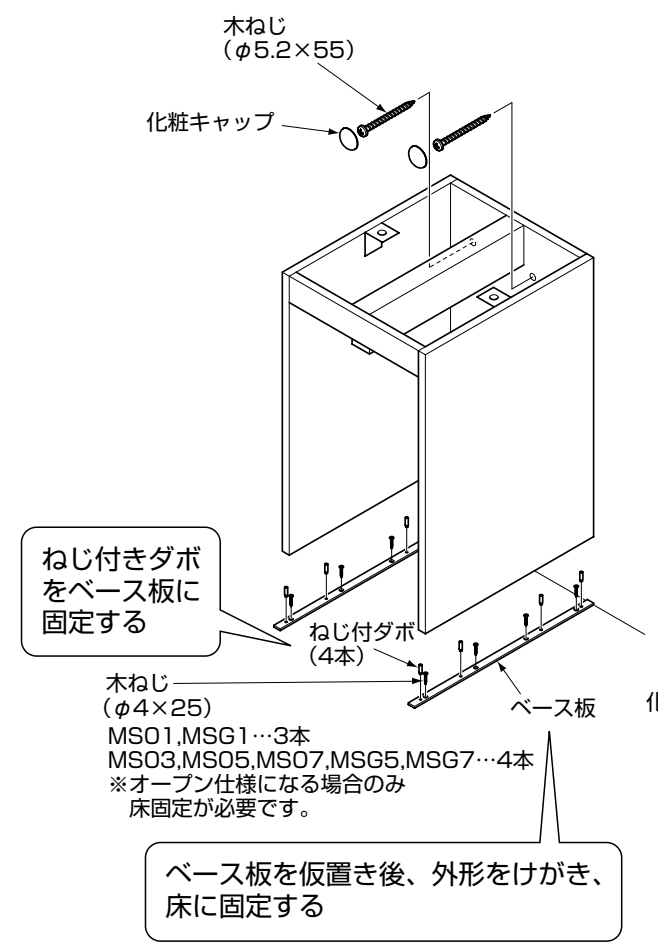
6 キャビネットの取り付け



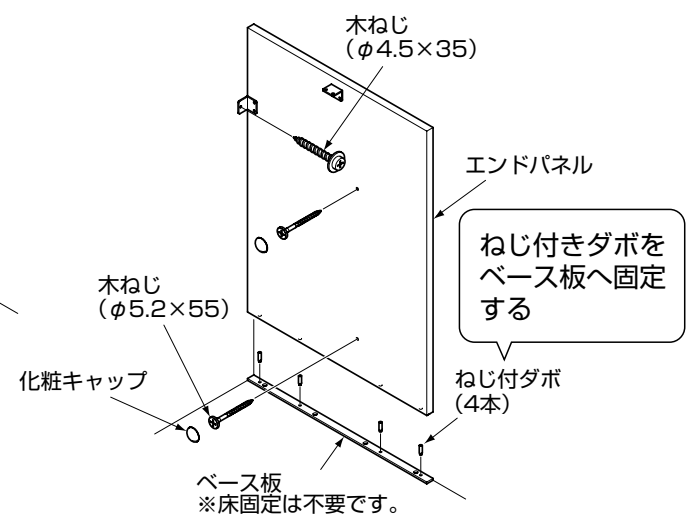
3 壁固定用木ねじで壁に固定し、化粧キャップを取り付ける
※オープンタイプフロアキャビネット・エンドパネルの場合は床及び壁が水平・垂直になっているか確認してください。
（床及び壁が水平・垂直でない場合は、当て木をして調節してください。



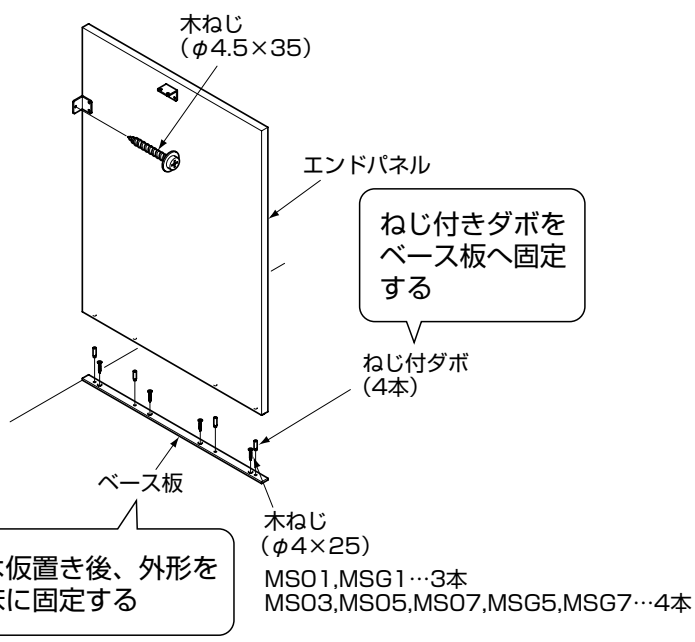
フロアキャビネットの場合



〈オープンタイプフロアキャビネットの場合〉

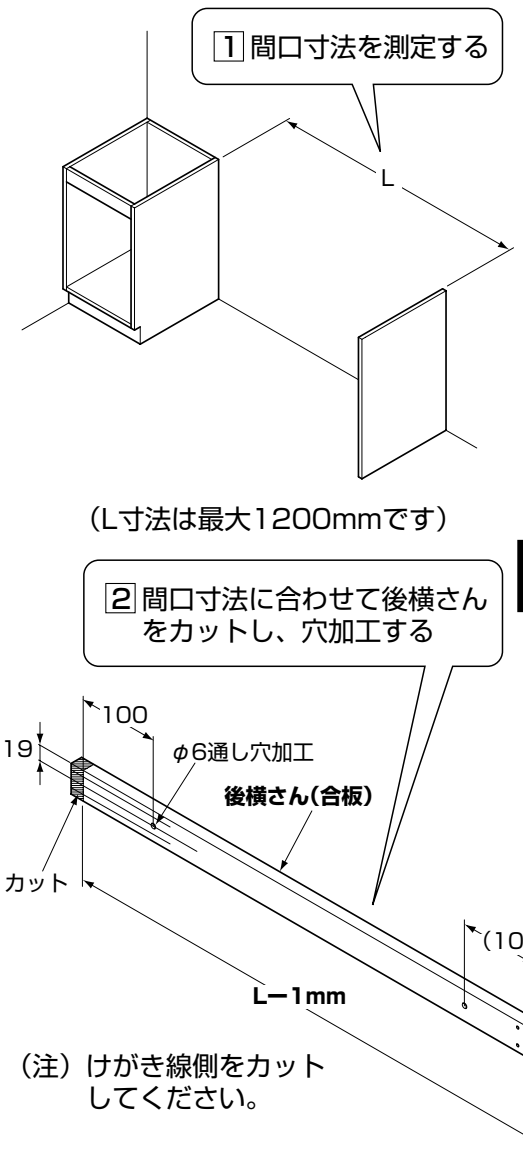


〈エンドパネル横壁設置仕様の場合〉

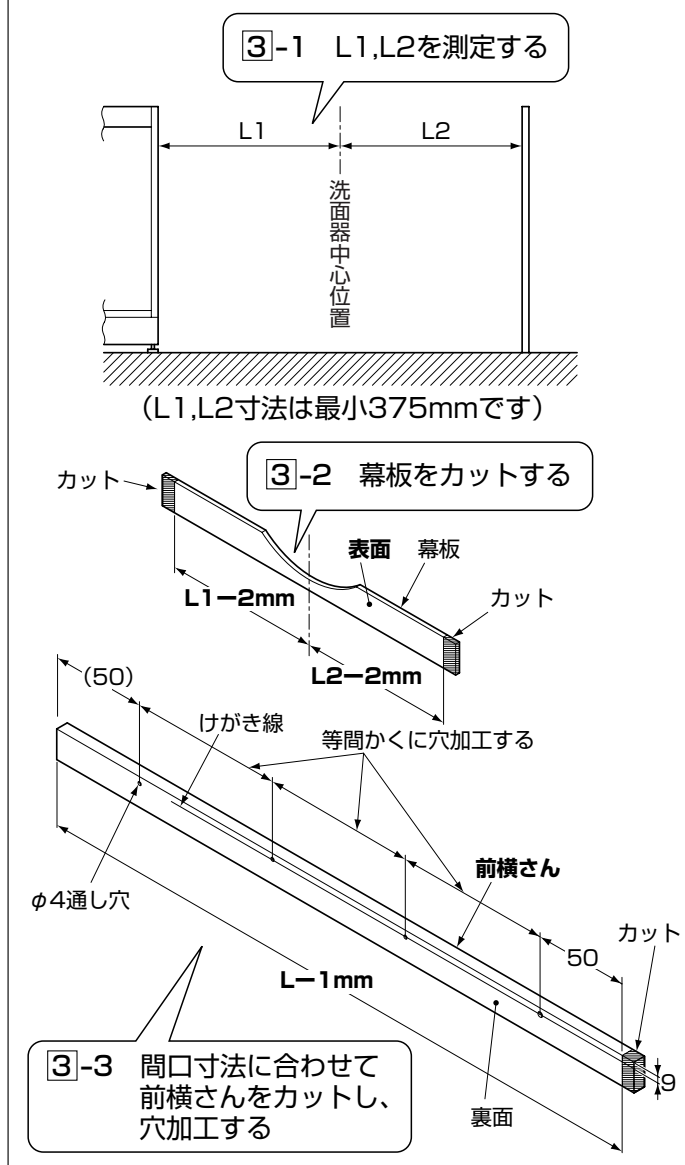


〈エンドパネルオープン仕様の場合〉

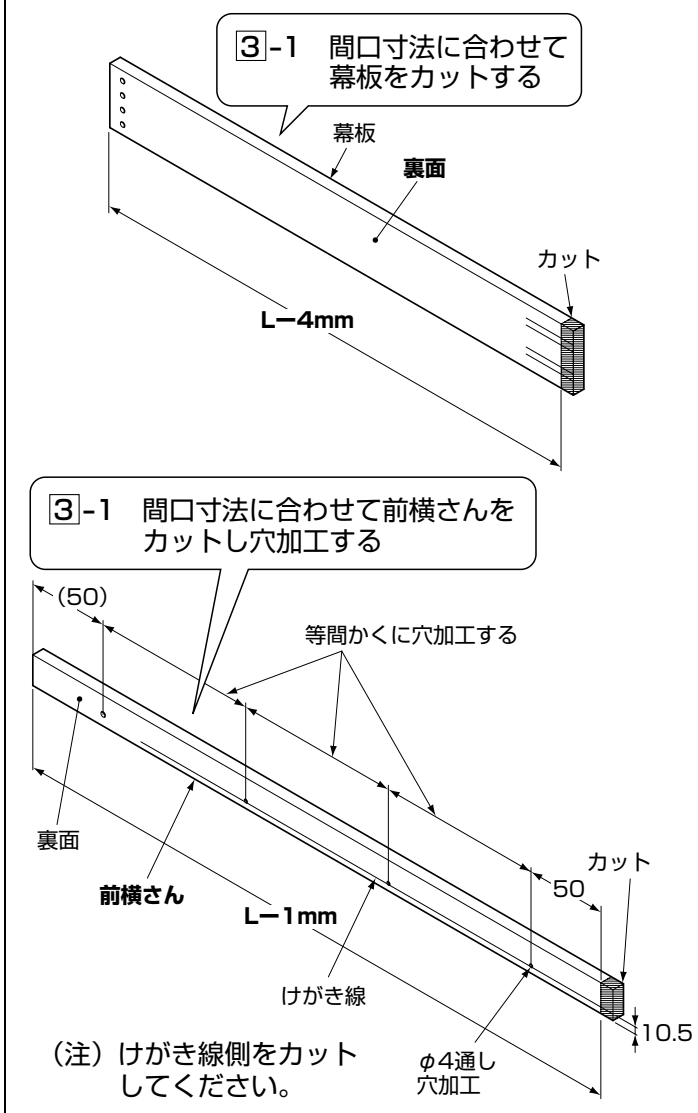
7 幕板、前・後横さんの取り付け



ラウンドタイプ MS01，MSG1

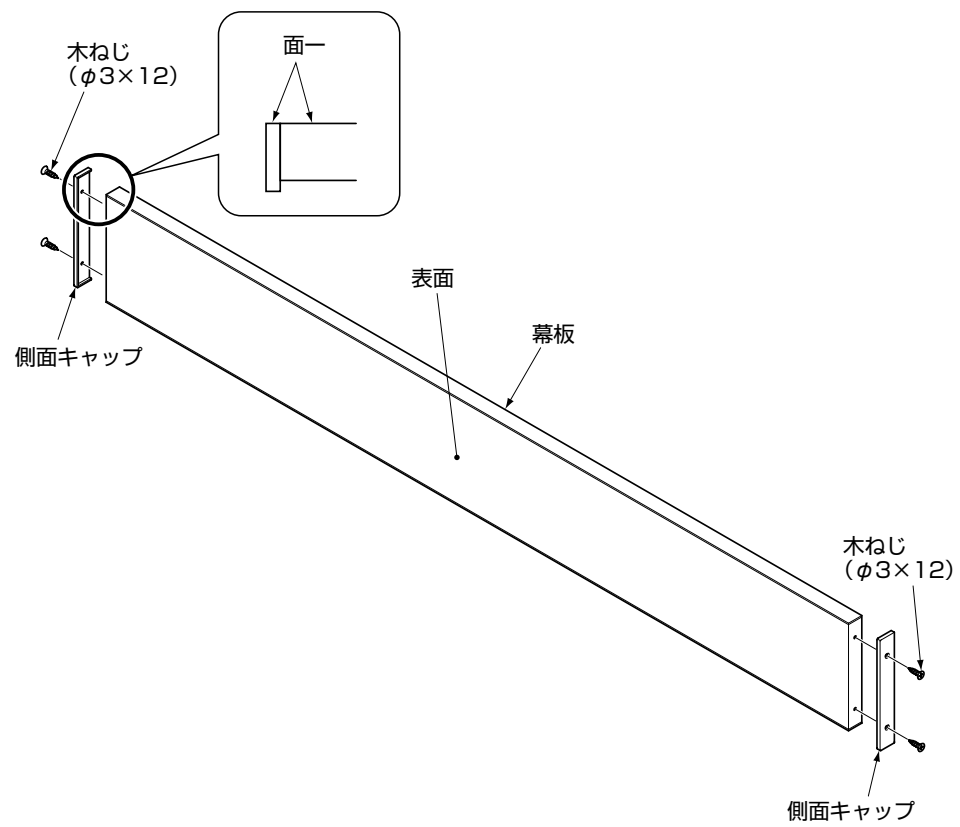


ストレートタイプ MS03，MS05，MS07 MSG5，MSG7



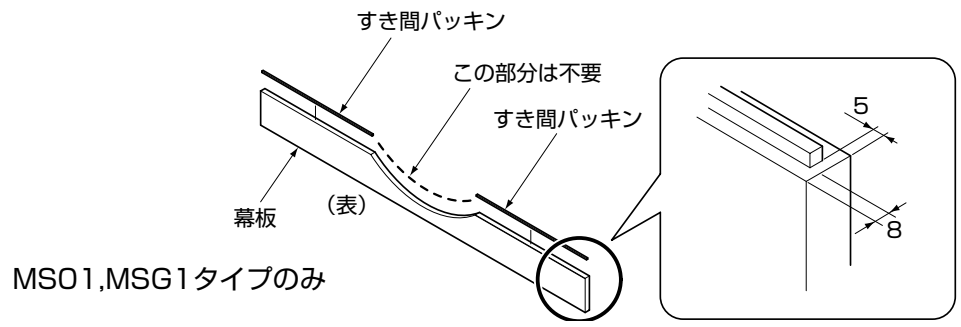
8 幕板側面キャップの取り付け

- 幕板の左右木口に幕板側面キャップを木ねじで固定します。



9 すき間パッキンの貼り付け

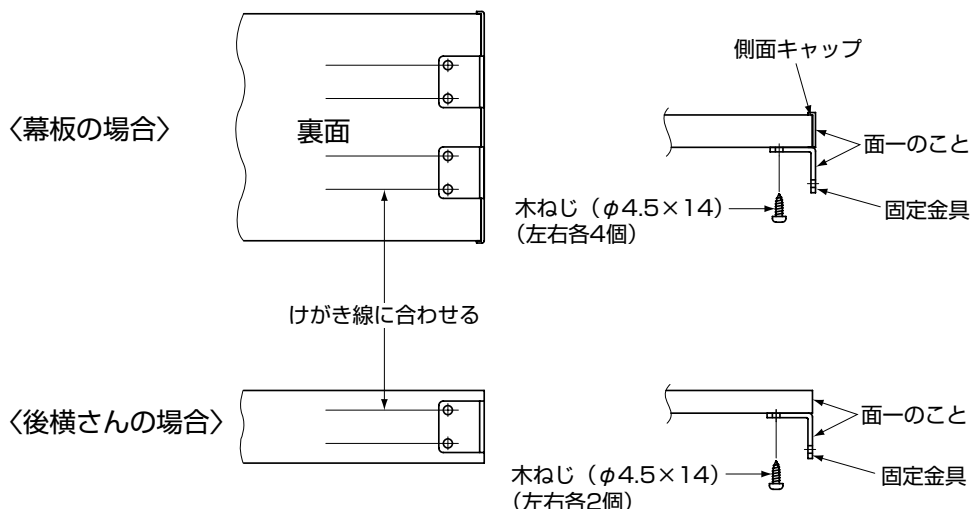
- すき間パッキンを幕板の長さに合わせてカットして下図の要領で幕板上面に張り付けます。



MS01,MSG1タイプのみ

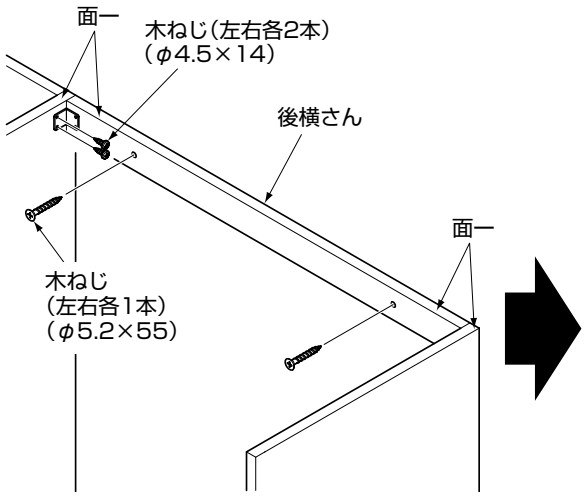
10 幕板・後横さんへ固定金具の取り付け

- 幕板・後横さんのけがき線又は下穴に合わせて固定金具を木ねじで取り付けます。

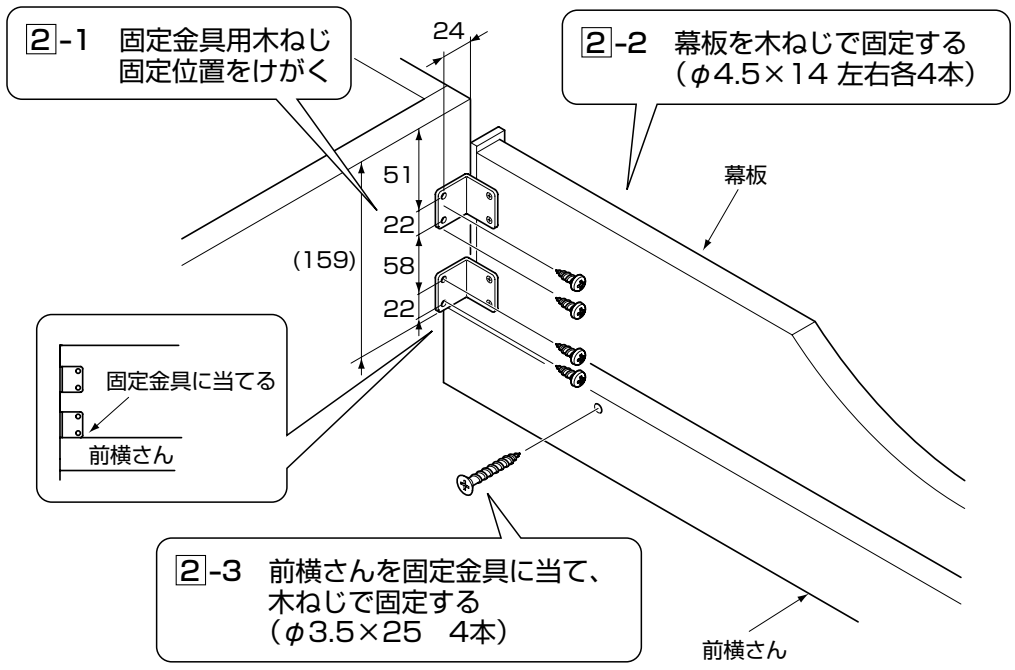


裏面に続く

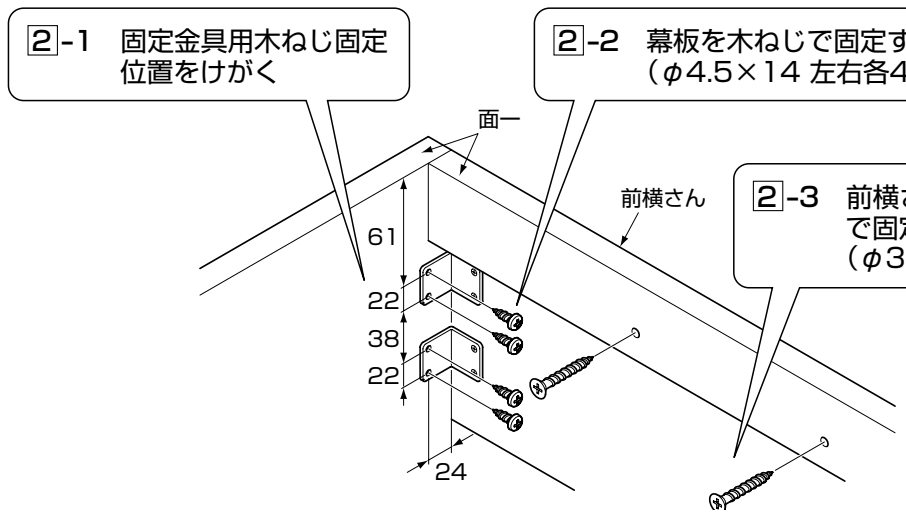
11 幕板、前・後横さんの取り付け



MS01，MSG1タイプ



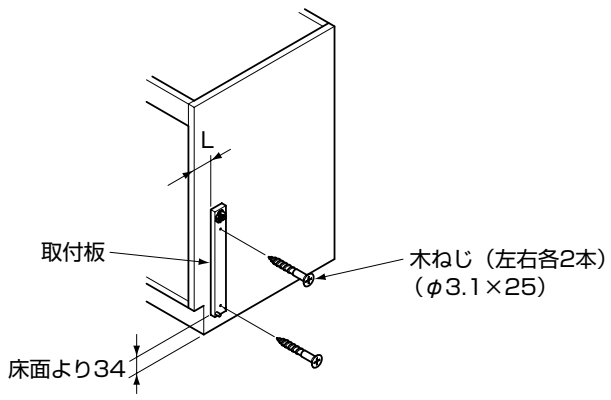
MS03，MSG5，MS05，MSG7，MS07タイプ



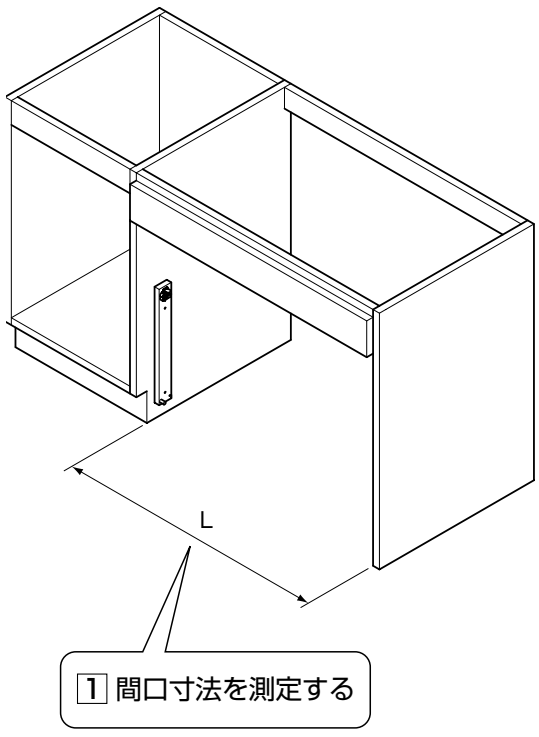
12 ニースペース取付板の固定

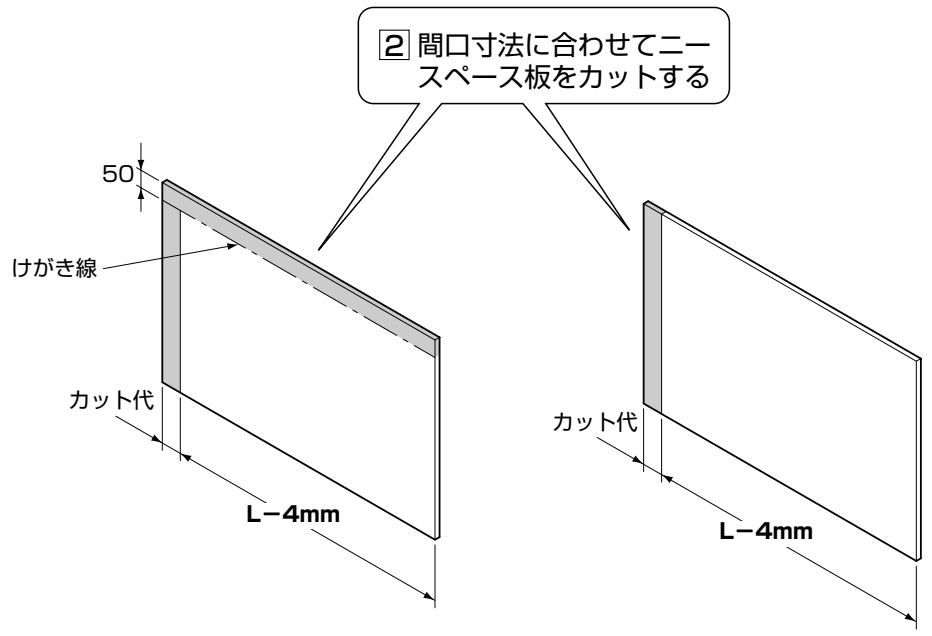
- 取付板を左・右のキャビネットに木ねじで固定します。

カウンタータイプ	L
MS01、MSG1	60
MS03、MS05、MS07、MSG5、MSG7	160



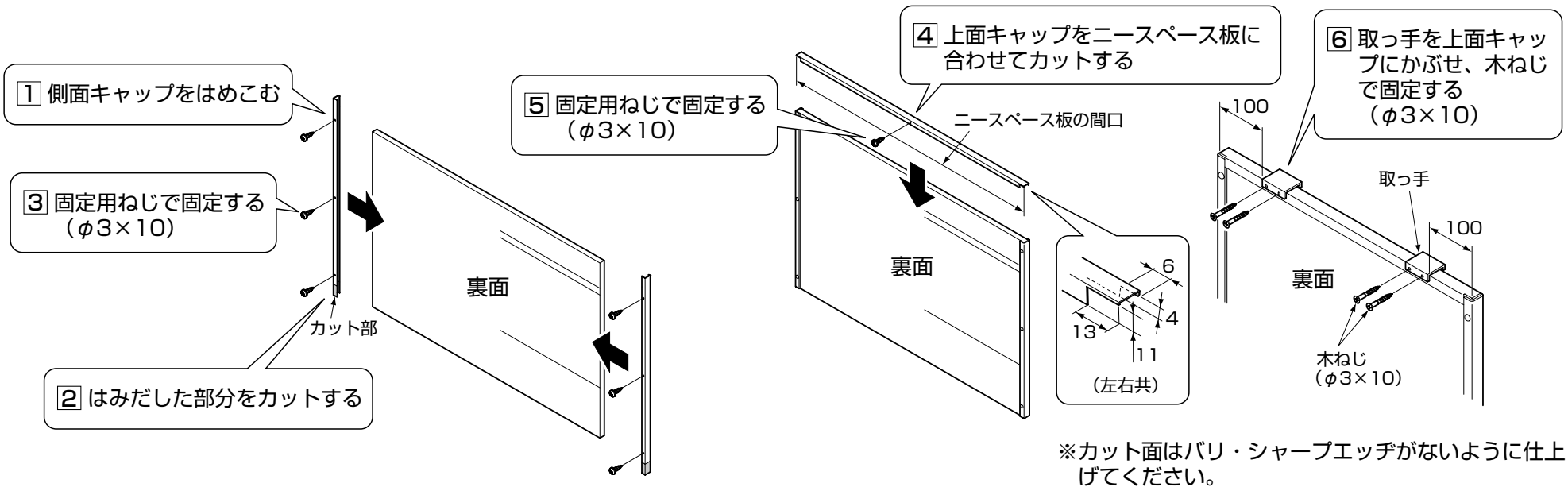
13 ニースペース板のカット





■カウンター高さ750用　　■カウンター高さ800用

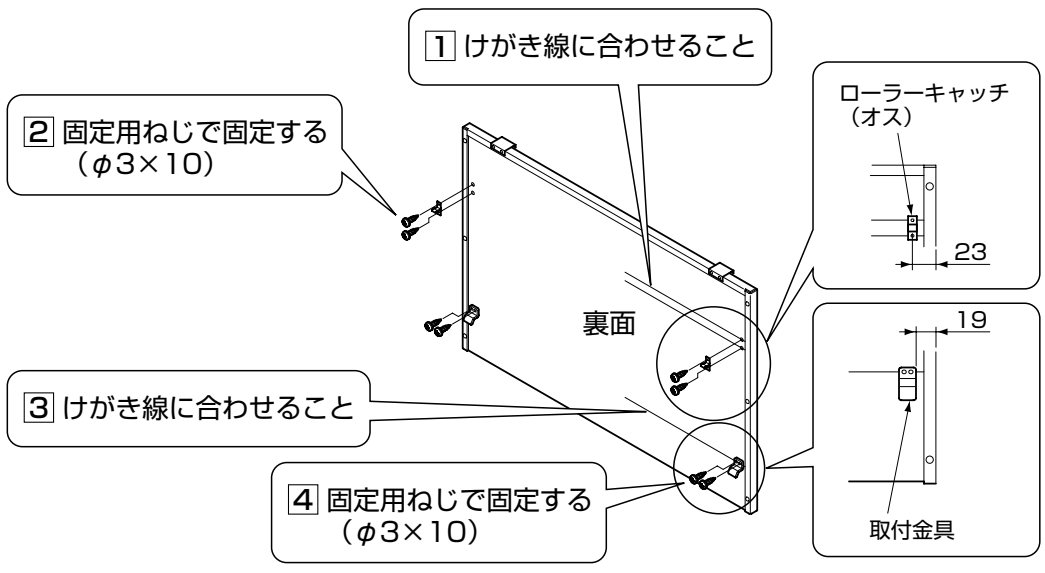
14 上面・側面キャップの取り付け



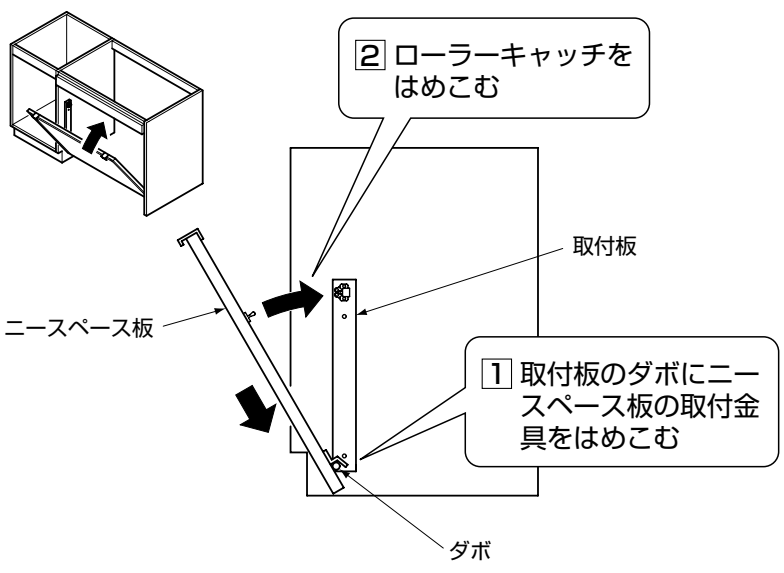
※カット面はバリ・シャープエッヂがないように仕上げてください。

15 取付金具・ローラーキャッチ（オス）の取り付け

- ニースペース板の裏面に取付金具、ローラーキャッチ（オス）を木ねじで取り付けます。



16 ニースペース板の取り付け

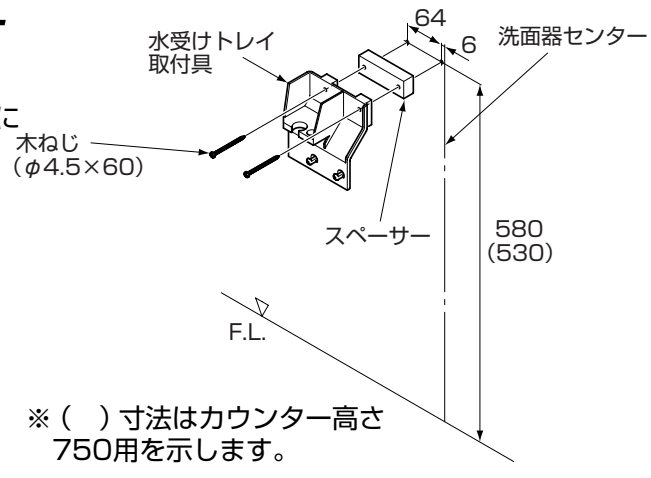


※取り付けが完了したらニースペース板を外しておいてください。施工が完了後に再度取り付けてください。

17 水受けトレイ取付具の固定

（シャンプータイプのみ）

- 水受けトレイ取付具及びスペーサーを木ねじで壁に固定します。



※（　）寸法はカウンター高さ750用を示します。

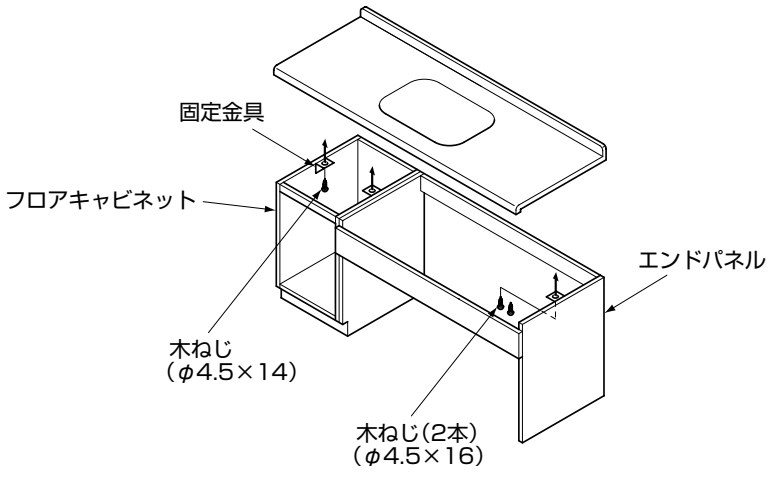
18 洗面器の取り付け

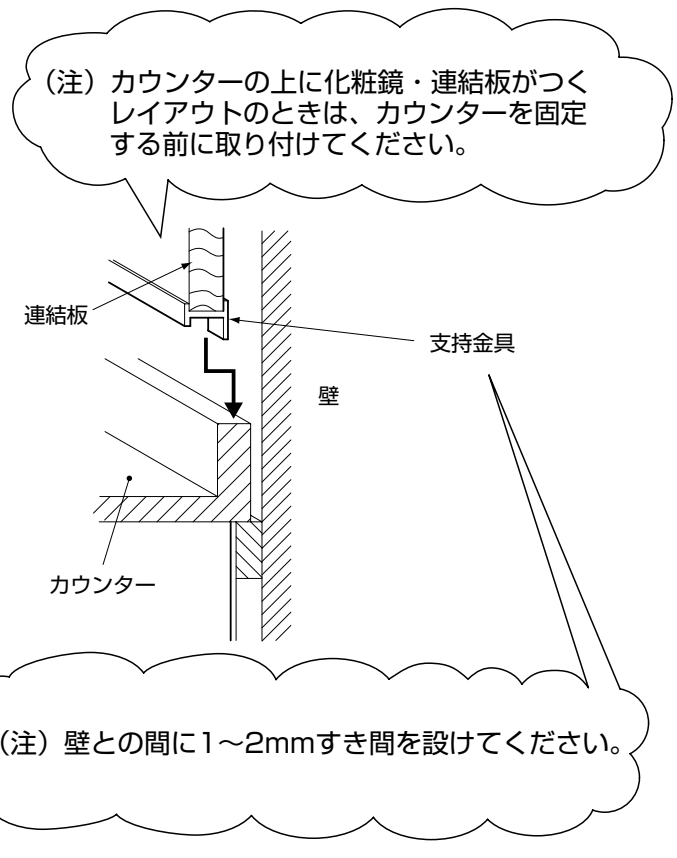
（洗面ボウルー体型を除く）

- 洗面器の取り付けについては、カウンターに同梱されている「施工説明書」をご参照ください。

19 カウンターの取り付け

- カウンターを設置し、フロアキャビネット内側から木ねじ（フロアキャビネットに付属しています）で固定してください。
- 連結板がつく場合は、支持金具をカウンターと壁の間に差し込んでカウンターを固定します。

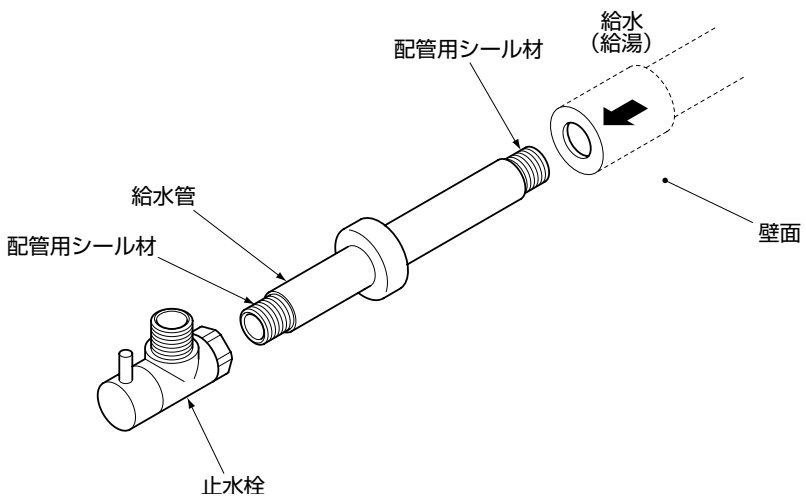




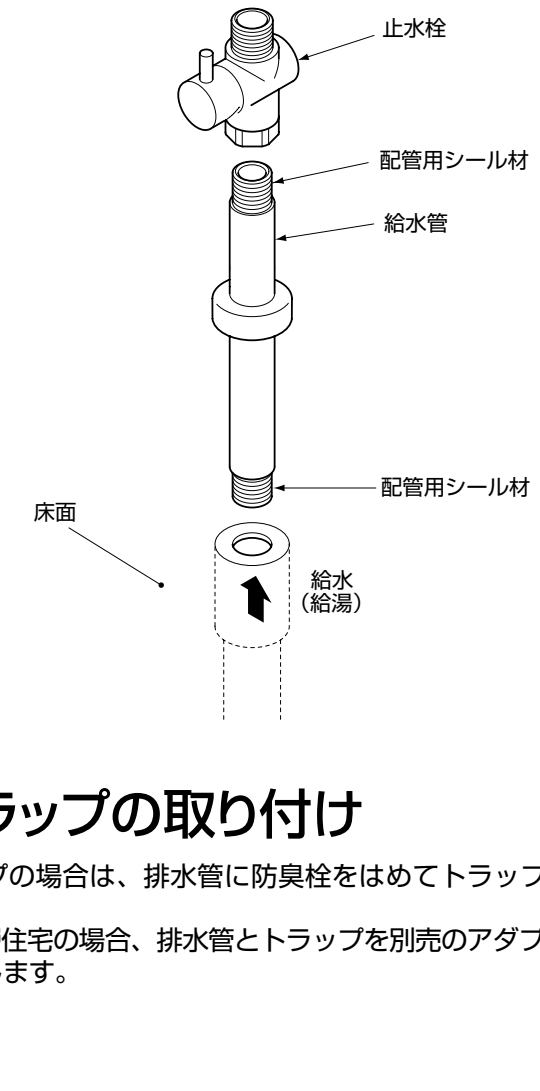
20 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で十分に締め付けてください。
- 配管王対応は、TSA4BKX＊＊＊に同梱の施工説明書を参照してください。

壁給水の場合



床給水の場合

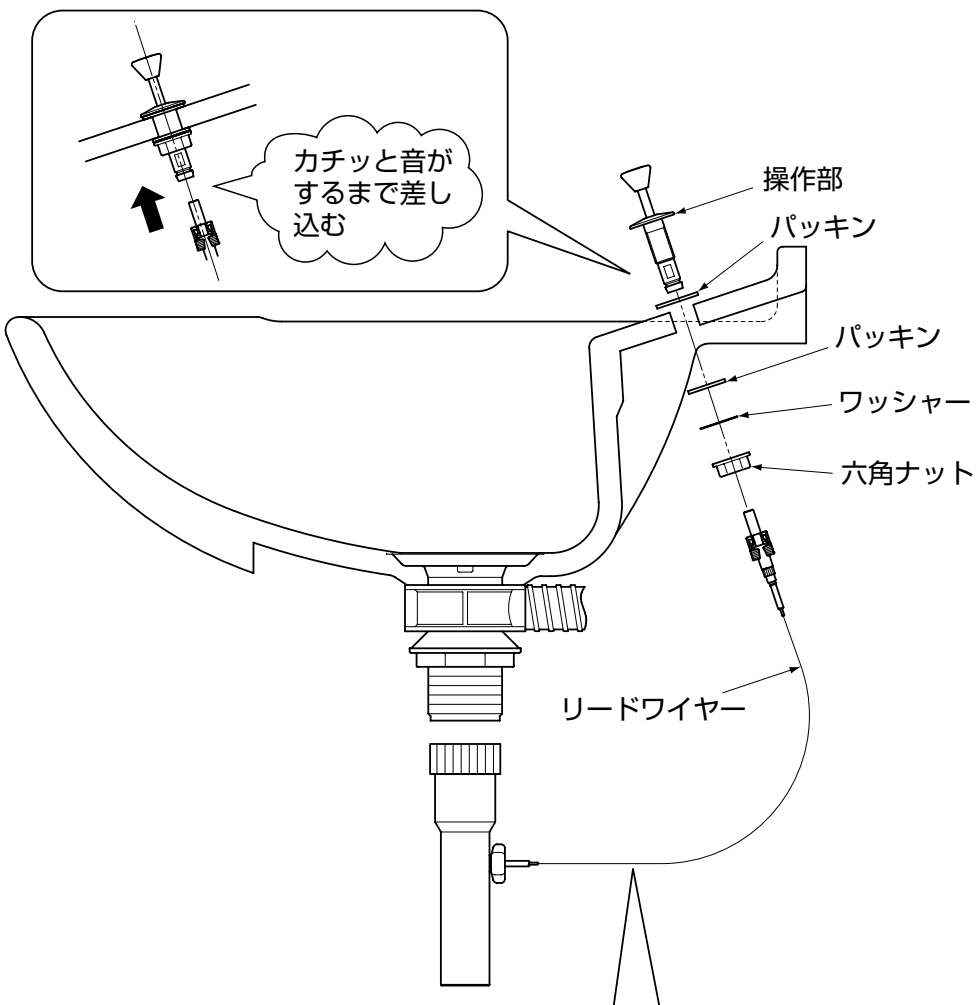


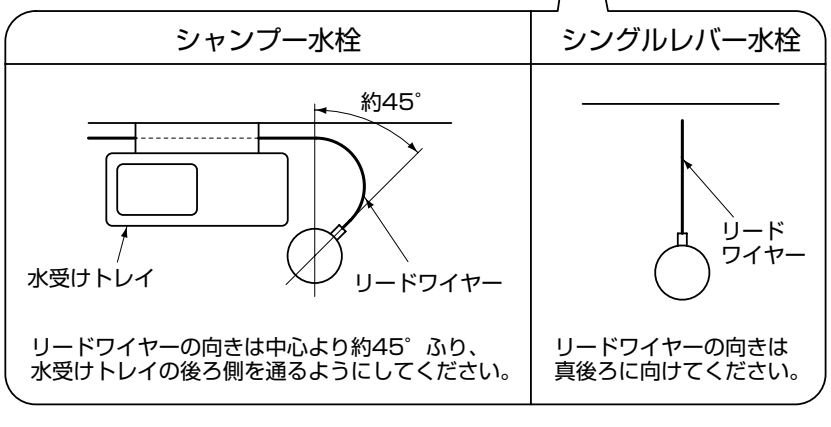
21 水栓金具の取り付け

- 水栓金具の取り付けについては、水栓金具に同梱されている施工説明書をご参照ください。

22 排水金具の取り付け（洗面ボウル一体タイプのみ）

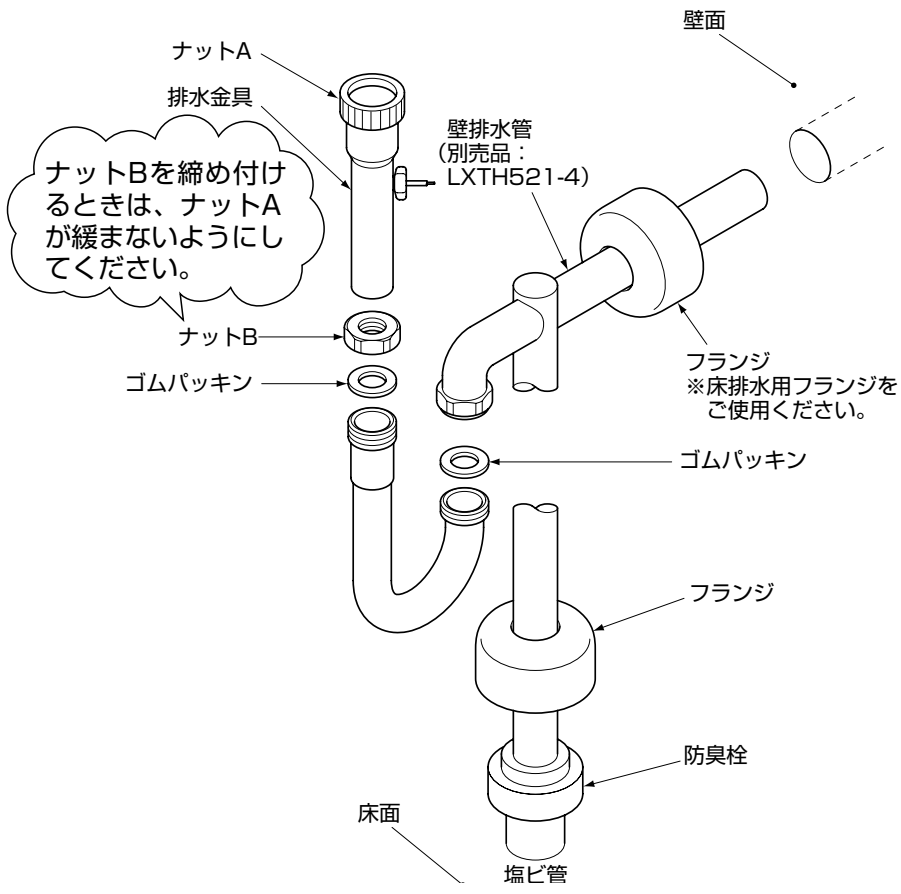
- ボウル一体タイプに排水金具を取り付ける場合は、下図または排水金具に同梱されている「施工説明書」を参照してください。
- 陶器製洗面ボウルに排水金具を取り付ける場合は、排水金具に同梱されている「施工説明書」を参照してください。

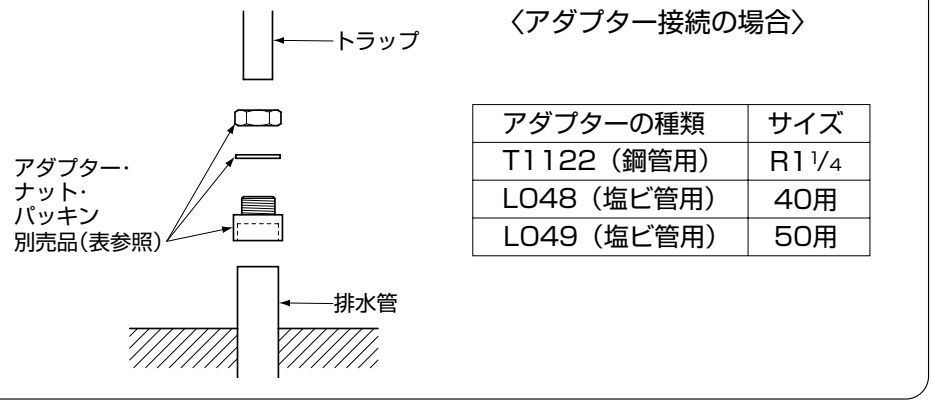




23 排水トラップの取り付け

- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差し込みます。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプター（下表）で確実に接合します。



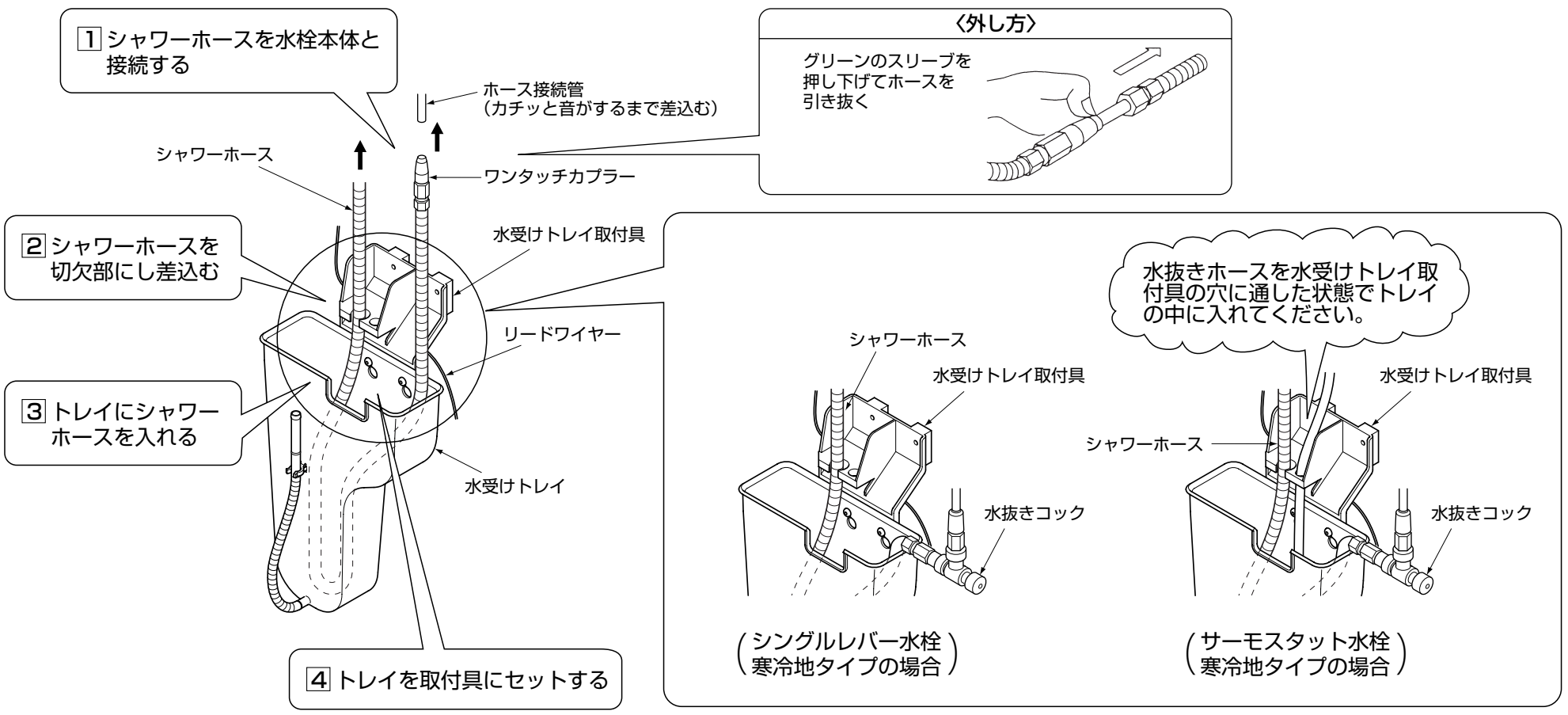


〈アダプター接続の場合〉

アダプターの種類	サイズ
T1122（鋼管用）	R1¼
L048（塩ビ管用）	40用
L049（塩ビ管用）	50用

24 水受けトレイの取り付け（シャンプータイプのみ）

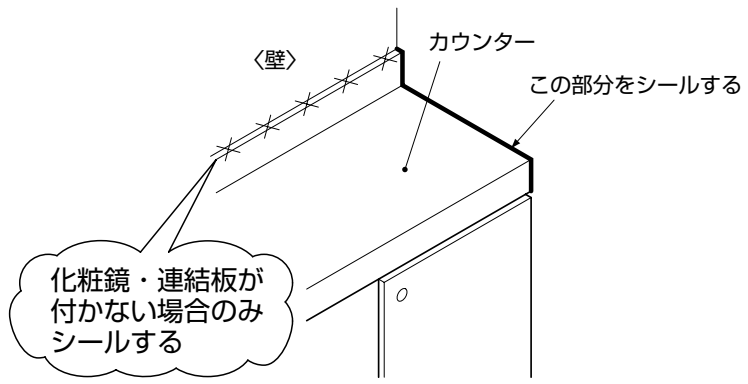
● 水受けトレイを取り付けてください。



25 壁やミドルキャビネットとの処理方法

● カウンターと壁の突き合わせ部をメジシールにてシールします。

（白　−YG902S
透明−YG903S）



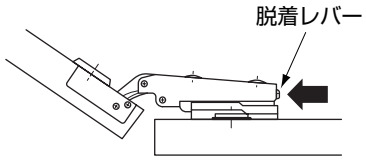
6 扉の着脱・調整方法

■各部の名称

■扉の着脱方法

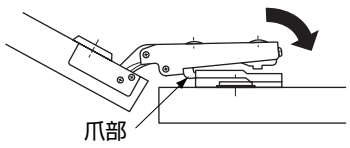
●外し方

本体後端の本体脱着レバーを矢印の方向に押し込みながら、本体後端部を持ち上げてください。



●取付方

丁番先端の爪部に台座の先端を合わせはめ込み、カチッと、はまるまで本体後端部を押し下げます。

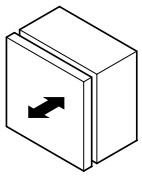


※本体がきちんと台座に装着されているか確認してください。

■扉の調整方法

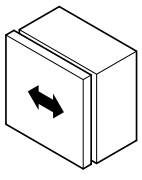
前後調節

前後調節ねじを緩め、扉を前後に動かし、適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



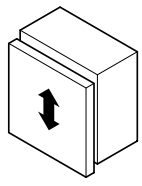
左右調節

左右調節ねじを左右に回して、適当な位置を選んでください。



上下調節

上下調節ねじを緩め、扉を上下に動かし、適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



7 取付完了後の確認と清掃

- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
  シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。